

楽しいもの、嬉しいものと感じさせ、而して子供達に親ませ度いために居ります。

つき添ひについて

入園式の翌日から一人で来る様なものもありますが、まあ一週間乃至半月位の附添ひを許して居ります。室外に待つて居ることによつて安心して居るのが普通ですが、中には自分の側から放さない様なものもあり、又一學期間も離れない子供もあります。これは何うしても保母と家庭の努力に俟たなければ、相當早い効果を見ることは出来ませんが、主として幼児の性質に依るものですから、氣を長くして保育をすることだと考へて居ります。

一番私共の困ることは、今少し根氣よく子供に附いてやつて下されば、そして同じ幼稚園にのこして歸るにしても、子供に得心さしてから歸へつて下さればと思ふのに、かくれて歸へられた後で、

子供が地駄ん駄を踏んで火のつく様に泣かれることとです。其の爲めに折角泣き止んだ子供迄が、又思ひ出して泣き出す、あちらでも此方でも、仕舞には若い保母などは、途方にくれて自分も泣き出しさうになつて居るのなどは、何處でもあることだと思ひます。その邊の事は保護者會によく言つて、送り迎へをする人に知らせておいて貰ふことだと思ひます。

○ 東京市本郷區 第一幼稚園 小向 喜美

一休和尚を真似るにはあらねども、目出度もあり目出度もなし、嬉敷もあり嬉敷もなしと云ふ様な感じのするのは年度の終りでありますまいか。

日頃手馴れし幼児が規定の保育を終つて是から小学校に進むと云ふ時之が目出度なくて何としませう。さりながら今日を限りに別れを告げなければならぬと思ふと一寸嫌な心持も致します。然し次

には新入幼児が入替つて門をくゞろうとして待つて居ります。是又何と嬉しい樂しみな多望な事です。今年こそは前年の失敗の經驗を繰返さぬ様充分注意して見ませうとは先第一に思ひ浮びます。次には何ふ云ふ方法を以て之を迎へたらば幼兒をして此幼稚園を樂天地と感ぜしむることが出来るだらうか。斯様に考へ來ると種々様々の空想が目前にちらつきます。今之を排列して見ますと。

イ、在園幼兒に今から新らしいお友達の出來ることを樂しんで待つ様宣傳して置ませうか。

ロ、疊の部屋を作つて此處で家庭的に一二週間ばかり自由に遊ばせて見ませうか。

ハ、幼兒の好みに適する玩具を種々取揃へて置ませう。

ニ、入園第一歩の感じをよくさせる爲に玄關丈でも出來るだけ美しく裝飾して見ませうか、

ホ、庭に季節の草花を集め植えて樂ませませうか。

へ、外遊びの玩具は何がよいか。

ト、室内はどういふ風に飾り付けをしませうか
チ、蓄音機のレコードを幼兒向のものを集めて置ませうか。

リ、室内の机の形はどれがよいか、其排列はどうしたらよいか、どの式にしようか。

ヌ、唱歌はどふ云ふものを撰ぼうか、遊戯はど
ういふものを用ひませうか。

ル、一日も早く幼兒が保母に園に馴れるやうにするには如何なる態度、如何なる方法を以てするか、先其研究申合せをして置ませうか。

斯様に思ひ浮べて來ると限りもありません。兎も角も保母は幼兒に對して愛の一字を忘れぬ様、而も仔贖の愛でなく眞の愛を以て進んで行つたならば大過はないであらうと云ふことに到着致しま

した。

○ 東京市富士見尋常
小學校附屬幼稚園 小杉 さと

櫻咲く花の都の我が大君の御代、靖國神社の邊りなる富士見小學校附屬幼稚園の新入園児を迎へての經驗なり考案なりを話す様にと、お茶の水幼稚園編輯部より原稿用紙まで送つて頂いたわけでございますが、私の經驗や私の考案等申上げた處で何の御參考にもならぬと思ひますが、折角の仰せ故一言申上げて見たいと思ひます。

今茲昭和五年四月の新入園児を迎へますのは私の保母となりましてより第二十七回となります事で、新入児の入園前の希望は實に豊富なるものであらうと存じます。或はお友達が大量出來て嬉しかいか、或は先生達に遊ばして頂けて楽しいとか或はブランコに乗つたり、迂り臺を迂つたりして

楽しく思ふ者もありませう、或は四角の積木や三角の積木や澤山の玩具が使へるだらうと、楽しんで居る子もありませう。其又反對にお友達にいちめられはしないか、或は先生に叱られはしないか又唱歌が歌へないかしら、又遊戯が出來ないかしらと心配して居る子もあるかもしれません。園児の父兄には華族あり、官吏あり、軍人あり、銀行家あり、實業家あり、會社員あり千差萬別の家庭の内より定員百二十名を取つて松竹梅の三組と分ち松組は全部、竹組は三分の一位で毎年七十名内外の修了児を出し、梅の組は全部後に殘ることに なります。

此等の園児を如何にして満足させて率ゐて行くかと言ふことに就きましては、實に私は千思萬考して教育指導の重大なる責任を心配致さずには居られません。夫れ故に私は始めお父様やお母様が其のお子達をお連れになつて、お會ひしますと、順